

京都府総合計画策定検討委員会（仮称）の委員を公募します

令和4年5月20日
京都府政策企画部総合政策室
(075-414-4348)

京都府政に関心を持ち、府内に居住、通勤又は通学している皆さまの日頃の地域・市民活動やビジネス等を通じて得られた知識、経験等を、京都府行政運営の基本理念・原則となる条例（平成22年京都府条例第38号）第4条第1項に基づき、令和元年10月に策定した京都府総合計画の見直しに活かすため、京都府総合計画策定検討委員会（仮称）に出席して積極的な御意見をいただける委員の方を次のとおり公募しますので、広くご周知をお願いします。

1 委員の公募の概要

(1) 募集する委員の数

3人

(2) 応募受付期間

令和4年5月20日（金）から令和4年6月9日（木）まで

(3) 応募資格

次に掲げる全ての要件を満たしている方とします。

- ① 日頃から府政に関心を持ち、専門的研究、地域・市民活動又はビジネス等の知識及び経験をいかして積極的に発言できること。
- ② 府内に居住、通勤又は通学していること。
- ③ 国若しくは地方公共団体の議員又は常勤の公務員でないこと。
- ④ 府が設置する他の審議会等の委員でないこと。
- ⑤ 平日の昼間に開催される会議への出席が可能であること。

(4) 任期

就任依頼の日から令和5年3月31日（予定）

(5) 会議の開催回数

月1回程度（web参加可）

(6) 謝礼等

会議に出席した場合、謝礼として1日13,900円と旅費（往復の交通費）をお支払いします。

（次頁あり）



2 応募方法

京都府総合計画策定検討委員会（仮称）公募委員応募申込書（別紙様式）を郵送（当日消印有効）又は電子メールにより、提出してください。

なお、応募書類の返却はいたしません。

京都府総合計画策定検討委員会（仮称）公募委員応募申込書は、京都府ホームページ（<https://www.pref.kyoto.jp/shingikai/kikaku-01/minaoshikentouiinkai/iinboshuu.html>）からもダウンロードできます。

3 選考方法

提出された資料により、選考委員会において委員を選考し、決定します。

なお、結果通知は、応募された方全員に郵送にて通知します。

4 応募書類の提出先及び問い合わせ先

〒602-8570（専用郵便番号のため、住所の記載は不要）

京都府政策企画部総合政策室あて

電 話 075-414-4347・4348

E-mail sogoseisaku@pref.kyoto.lg.jp

京都府総合計画策定検討委員会（仮称）の委員を公募します！！



京都府の府政運営の指針として令和元年10月に策定した、京都府総合計画の見直しを行うにあたり、有識者や府民の皆さまからの御意見をいただくため、京都府総合計画策定検討委員会（仮称）を設置します。つきましては、委員の一部を府内に居住、通勤又は通学している皆さまより公募します。

公募する委員の概要

- 1 委員の数
3人
- 2 任期
就任依頼の日から令和5年3月31日まで（予定）
- 3 懇話会の開催回数
月1回程度（web参加可）
- 4 謝礼等
委員会に出席した場合、謝礼として1日13,900円と旅費（往復の交通費）をお支払いします。

**公募期間：令和4年5月20日（金）から
令和4年6月9日（木）まで**

応募方法：郵送（当日消印有効）又は電子メール

応募先・問合せ先 〒602-8570(住所記載不要) 政策企画部総合政策室
電話 075-414-4347・4348
E-mail sogoseisaku@pref.kyoto.lg.jp

府HP：<https://www.pref.kyoto.jp//shingikai/kikaku-01/minaoshikentouiinkai/iinboshuu.html>

現行計画「京都府総合計画」の概要

一人ひとりの夢や希望が全ての地域で実現できる京都府をめざして、令和元年10月にスタートした府政運営の指針です。

◆「京都府総合計画」の概要

おおむね20年後に実現したい将来像

将来構想

1. 人とコミュニティを大切に
する共生の京都府
2. 文化の力で新たな価値を創造する京都府
3. 豊かな産業を守り創造する京都府
4. 環境にやさしく安心・安全な京都府

おおむね4年間で取り組む

基本計画

20の分野別基本施策

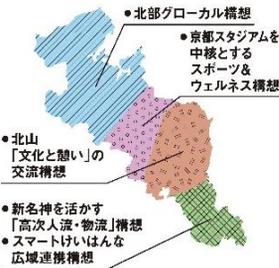
20年後に実現したい姿に向けた分野ごとの具体的な方策

5つの府民協働で取り組む きょうとチャレンジ

府民協働で積極的に“チャレンジ”する方策。府民、地域、企業等と連携・協力しながら目標の達成をめざします。

5つのエリア構想

地域の個性ある魅力づくりや更なる成長・発展につなげます。



Pick up

「子育て環境日本一」きょうとチャレンジ

2040年に全国平均並みの合計特殊出生率をめざし、行政、府民、地域、企業などあらゆる主体の総力を結集し、「子育て」の視点から社会を変革します。



「府民躍動」きょうとチャレンジ

人生100年時代を見据え、府民の誰もが生きがいを感じることをできる共生社会づくりを進めます。



「文化創造」きょうとチャレンジ

地域文化を大切にするとともに新しい文化が生まれ続け、地域に活力を生み出す社会づくりを、文化庁が本格移転する京都から進めます。



「新産業創造・成長」きょうとチャレンジ

企業のスタートアップから成長、継承まで、イノベーションが起こり続ける最適な事業環境の創造を京都から進めます。



「災害・犯罪等からの安心・安全」きょうとチャレンジ

災害や犯罪等から府民の命と財産を守るため、AI等の活用によりハード・ソフト一体となった最先端の危機管理・安心安全体制を構築します。



おおむね4年間で取り組む

地域振興計画

山城・南丹・中丹・丹後の各地域の資源や特性を生かした地域振興策を示しています。

山城地域振興計画

個性豊かなそれぞれのエリアが魅力を輝かせ、つながり、更に発展する山城地域



南丹地域振興計画

来てよし・観てよし・住んでよし。交流人口・関係人口1,000万人超の賑わいと活気のある京都丹波



中丹地域振興計画

あなたの想いにつながる「中丹暮らし」



丹後地域振興計画

安心して「元気」に住み続けることができ、希望が持て夢が実現できる丹後地域

